

# 「さがみロボット産業特区」 第 1 期の取組状況について

H29.8.29

# 1 第1期での目標の達成状況・国の評価

数値目標の状況（H29.8.29時点） 目標値：H29年度末までの累計

## 生活支援ロボットの商品化件数

目標12件.....すでに**14件**実現

## 実証実験等の実施件数

目標90件.....すでに**147件**実施  
（当初目標を1.5倍に上方修正）

## ロボット関連企業の立地件数

目標35件.....**14件**

国の評価  
（H27年度）

アジア拠点化・国際物流分野：**1位**（4特区中）

ライフイノベーション分野：**2位**（13特区中）

## 規制緩和の実現状況（H29.8.29時点）

- ・ 実証：8件（電波法、旧薬事法、道路交通法）
- ・ 土地利用：5件（都市計画法、農地法）
- ・ 普及：1件（介護保険法）

## 実現した規制緩和の主なもの（ロボット特区関連）

電波法

屋外実証実験時の電波（UWB帯）の利用制限の緩和

都市計画法

市街化調整区域に工場等が立地する場合の開発許可基準の緩和

介護保険法

介護保険適用の提案が従来の3年に1度から随時提案に変更

## 国の財政支援の状況（H29.8.29時点）

- 企業による国研究開発補助金の獲得支援実績

➡ **10億4,800万円（33件）**

## 財政支援を活用し製品化に至ったロボットの例

## パワーアシストハンド



- さがみロボット産業特区発の商品化第1号
- 空気袋の膨張・収縮を繰り返し行うことにより、他動的・律動的に反復して、手指関節の屈伸運動を継続的に行うリハビリテーション補助機器
- 累計販売台数：400台超

# 1 - 数多くの実証実験の実施

重点プロジェクト

全国公募等の実証

公募型「ロボット実証実験支援事業」

神奈川版オープンイノベーション

3つの取組で開発・実証を次々と実現

商品化件数	14件(29.8.29時点)
実証支援件数	147件(29.8.29時点)



# 1 - 数多くの実証実験の実施

## 全国に先駆けて実施した実証実験

国内初、高速道での自動運転（H25.11.25）



遠隔操作による超音波診断（H26.3.4）



自動運転を活用したサービス（タクシー）  
（H28.2.29～3.11）



火山対応ロボットを大涌谷に投入  
（28.2.10～2.29）



# 1 -

# 普及に関する様々な取組の実施

## ロボット体験施設（H26～）



累計来場者数  
3,416組  
(H26~28)

実際の暮らしに近い環境で  
ロボットを体験できる住宅  
展示場内のモデルハウス

## ロボットモニター制度（H27～）



累計利用数  
143件  
(H27~28)

ロボットの購入等を検討  
している方が一定期間  
モニター利用できる制度

## ロボット体験キャラバン（H27～）



累計利用施設数  
165施設  
(2,534名)  
(H27~28)

ロボットを介護施設等に  
持ち込み、実際に体験し  
てもらうための取組

## ロボット導入支援補助金制度（H28～）



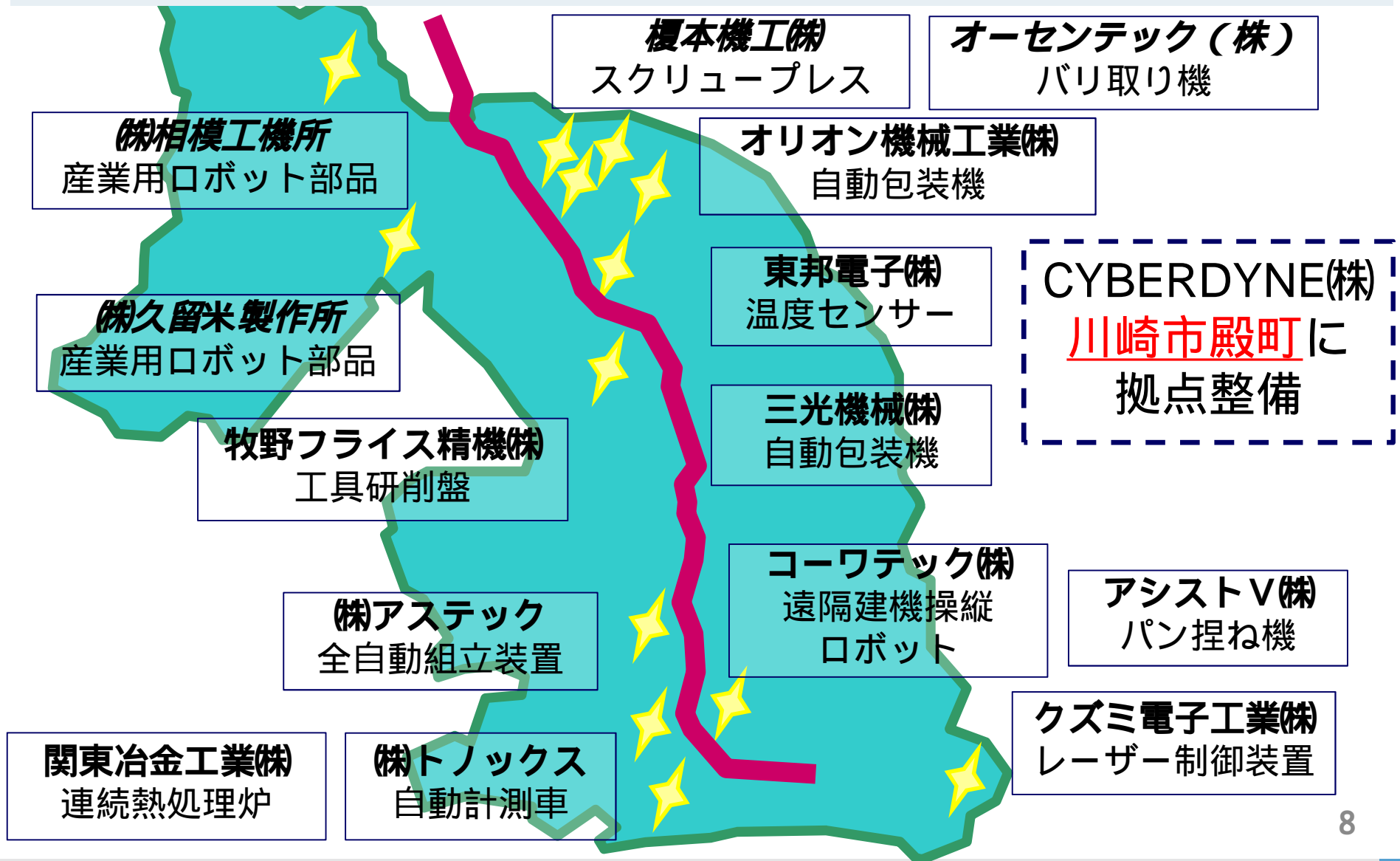
補助件数  
48件  
(H28)

特区発生活支援ロボットの  
導入を促進するための  
導入支援補助制度



# 1 - 関連産業の集積促進

インベスト神奈川2ndステップ・セレクト神奈川100による関連産業の集積件数：14件  
(H29.8.29時点)



## 2 第1期における取組の成果

